



AI&ロボット委員会特別賞
株式会社NTTドコモ

「Japanese Language Training AI」

仕事で使える日本語力の取得をAIがサポート

スマートフォンを用いていつでもどこでも手軽に日本語を学ぶ——外国人向けの日本語会話学習分野で、AIを用いた実践的な会話学習をサポートするのが、NTTドコモの日本語会話トレーニング支援プラットフォーム「Japanese Language Training AI」である。

教科書的な例文の暗記や正しい日本語の発音かどうかよりも、実際のビジネス現場で大切な「伝わる発音か」「伝わる言い回しか」を重視。これらは従来、人にしか教えることができなかったが、NTTドコモが独自開発したAIが発音判定と表現判定を行う。仕事に必要な会話力・伝わる度合い

を見える化し、外国人人材と日本の職場をつなぐ。

接客マニュアルをアプリに収録して活用するなど、顧客ごとにコンテンツのカスタマイズが可能な点もユニークである。

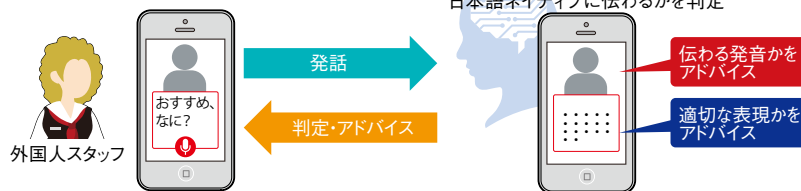
すでに海外の教育機関や国内の企業で導入されている。外国人スタッフの自立学習が可能となり、企業が

直接かかわる教育時間が半分になった例もある。

<活用イメージ>



図 AI判定のイメージ



特許出願中